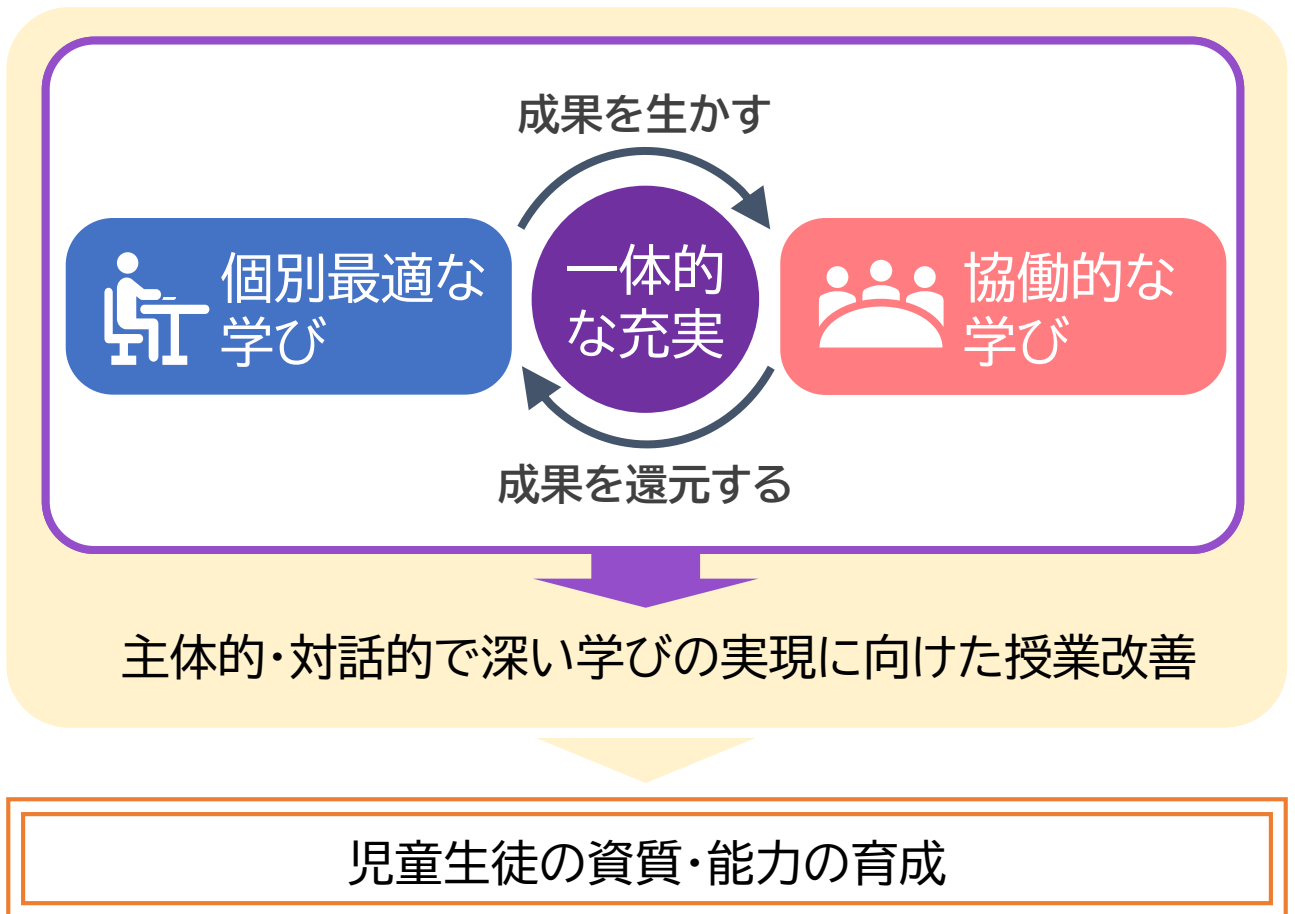


「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の 一体的な充実を目指して

2020年代を通じて実現を目指す「令和の日本型学校教育」では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげることを通して、児童生徒の資質・能力を育成することが求められています。



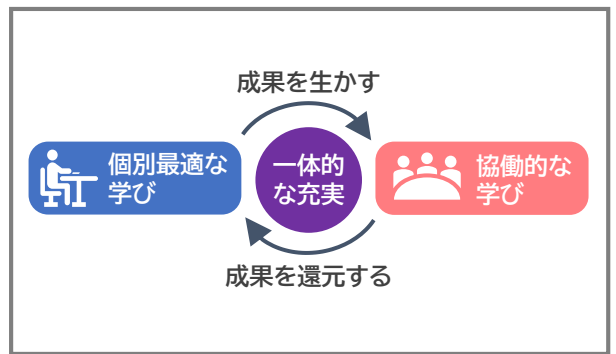
各学校において、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う際に、ぜひ御活用ください。



「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

授業づくりにおいては、「個別最適な学び」と「協働的な学び」が組み合わさって実現されていくことが多いと考えられます。

各学校において、教科等の特質に応じ、地域・学校や児童生徒の実情を踏まえながら、授業の中で「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていくことが必要です。 【中央教育審議会答申(令和3年1月26日)より】



【一体的な充実を図るためのアプローチ】

実際の授業づくりにおいては、1単位時間ごとではなく、単元(題材)を通して「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることが大切です。

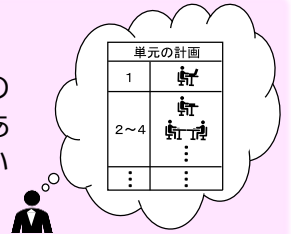
《単元(題材)を通して「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るイメージ図》



以下の3点に留意しましょう。

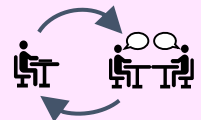
✓ 単元(題材)をデザインする

まず、単元(題材)を通して「児童生徒が何を身に付け、どのように学ぶのか」について明確にします。その上で、「ここは個別的に探究する必要がある」「ここでは、協働的に深めたいと児童生徒から声上がるのではないかなど、上記の図のようなイメージをもって単元(題材)を構想しましょう。



✓ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」とを往還する学習活動を展開する

例えば、個別で学習課題に取り組んだ後、ペアやグループで意見や考えを共有し、学び合いを行い、更に個別で学びを深めるような学習活動を展開することが考えられます。



✓ ICTを最大限に活用する

ICTの活用自体が目的にならないようにした上で、1人1台端末を日常的に活用したり、これまでの実践とICTとを適切に組み合わせたりします。例えば、個に応じた教材を提供したり、児童生徒の互いの考えを共有したりする際に、ICTを活用しましょう。



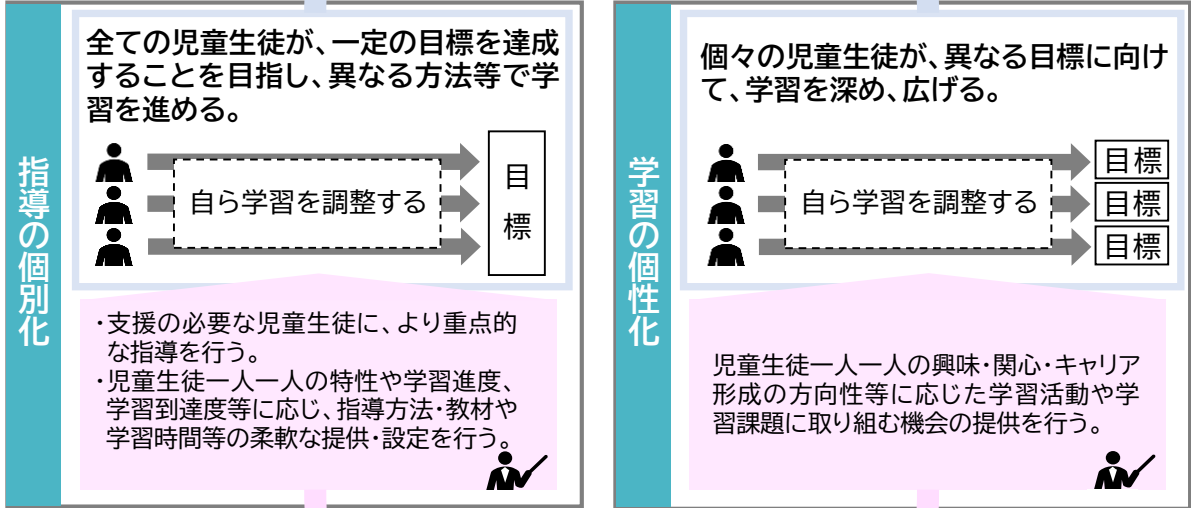
次頁から、「個別最適な学び」と「協働的な学び」それぞれについての概念の説明及び指導の工夫例を示します。



多様な児童生徒を誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」

「個別最適な学び」とは、「個に応じた指導」を学習者視点から整理した概念です。「個に応じた指導」は、「指導の個別化」と「学習の個性化」に整理することができます。「指導の個別化」と「学習の個性化」の二つの側面を踏まえて、児童生徒が学習の進め方(学習計画、学習方法、自己評価等)を自ら調整していくことができるようにしましょう。

学習者視点では「個別最適な学び」



教師視点では「個に応じた指導」

【指導の工夫例】

ICT … ICTの活用例

学習時間の柔軟な提供・設定



児童生徒一人一人が、それぞれのペースで学習を進めることができるように学習時間の柔軟な提供・設定をする。

他者に聞くことができる機会の提供



必要なときに、分からないことなどを友達や教師に聞くことができる機会を提供する。

見通しと振り返りの設定



児童生徒一人一人が、学習の見通しをもったり、学習を振り返ったりする学習活動を計画的に設定する。

ICT

学習履歴(スタディ・ログ)をデータ化し蓄積する。

個に応じた教材の提供



児童生徒が自ら選択して学習を進めることができるように、児童生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じた教材を提供する。

ICT

学習者用デジタル教科書、学習動画、*MEXCBT等、多様な教材を提供する。

個に応じた学習活動の設定及び学びを深める学習活動の設定



児童生徒一人一人が、補足的又は発展的な学習に取り組む学習活動を設定する。また、学び合ったことを基に、個別で学びを深める学習活動を設定する。

ICT

児童生徒一人一人が、各自で進めることができるドリル教材を用いたり、インターネットで調べたりして学習を行う。

個に応じた学習課題に取り組む機会の提供及び学習環境の整備



児童生徒一人一人の興味・関心等に応じた学習課題に取り組むことができるようにする。その際、その学習課題を解決できるような学習環境を整備する。

ICT

情報の探索、データの処理や視覚化、レポートの作成等を行う。

* MEXCBTとは、学習eポータルで過去の全国学力・学習状況調査の一部や、全国の各地方自治体が作成した問題に取り組むことができるCBTシステムのこと。



児童生徒の多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」

「協働的な学び」とは、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげ、児童生徒一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせたり、よりよい学びを生み出していくようにすることです。

「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう、きめ細やかな指導の工夫を行い、「協働的な学び」を充実するようにしましょう。

なお、「協働的な学び」の効果を高めるためには、学級経営を充実し、児童生徒が違いを認めて協力し合える学級づくりを進めることが大切です。

探究的な学習や体験活動などを通じ、児童生徒同士で、あるいは地域の方々をはじめ、多様な他者と協働する機会の提供を行う。

【指導の工夫例】

ICT … ICTの活用例

学び合うことができる機会の提供



必要なときに、ペアやグループで学び合うことができる機会を提供する。

探究する学習活動の設定



多様な他者と共に問題の発見や解決に挑む等、探究する学習活動を設定する。

協働制作する学習活動の設定



児童生徒一人一人が、自分のペースを大事にしながら、他者と共に作成・編集等を行い協働制作する学習活動を設定する。

発表する場面の設定

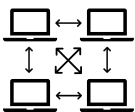


学習課題に対する自分の意見や考え等を全体で発表する場面を設定する。

ICT 写真や動画等を用いた資料・作品を、グループで分担したり、協働で作業したりする。

ICT 画像や動画等の視覚的に分かりやすい資料を提示して、個々の意見や考えを発表する。

共有する場面の設定



児童生徒一人一人の意見や考え等をグループや全体で共有する場面を設定する。

比較する学習活動の設定



多様な考えをグループや全体で比較する学習活動を設定する。

ICT *チャット機能等を用いて、児童生徒一人一人の考えを共有する。

ICT 多様な考えを複数提示し、比較する。

合意形成を図る学習活動の設定



多様な意見を共有しつつ合意形成を図る学習活動を設定する。

学校外とつながる学習活動の設定



ほかの学校・地域や海外と交流する学習活動や、遠隔地の専門家とつなぎ、学びを深める学習活動を設定する。

ICT 互いの意見を視覚的に共有し、合意形成を図る。

ICT Web会議システム等を用いて、学校外とつなげる。

* チャット機能とは、ネットワーク上で、文字を入力して会話するシステムのこと。

Q&A

Q1 これまでの学校教育でも「個に応じた指導」は行われてきましたが、「個別最適な学び」として学習者視点から整理されたのはどうしてですか。

A1 今日の学校教育が直面している課題を踏まえ、これからの学校教育において、学びの主体である児童生徒が、自分にふさわしい学習方法等を選択しながら、主体的に学習を進めていくことができるようにするためです。

Q2 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るためには、何から始めたらよいですか。

A2 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るために、まずは、次のような視点で、これまでの指導を見直すことから始めてみましょう。

- ・教師の視点やペースで学習を進めるのではなく、児童生徒が自分たちの視点やペースで学習を進めることができるように学習活動や学習活動の展開を工夫する。
- ・児童生徒のニーズや特性に合わせて多様な学習の場を設定したり、ICTを活用したりする等、指導の工夫を行う。

参考文献

- ・中央教育審議会 『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）』 令和3年
https://www.mext.go.jp/content/20210126-mxt_syoto02-000012321_2-4.pdf
- ・中央教育審議会 『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）【総論解説】』 令和3年
https://www.mext.go.jp/content/20210329-mxt_syoto02-000012321_1.pdf
- ・文部科学省 『学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料』 令和3年
https://www.mext.go.jp/content/210330-mxt_kyoiku01-000013731_09.pdf
- ・文部科学省 『小学校学習指導要領(平成29年告示)』 平成30年 東洋館出版社
- ・文部科学省 『中学校学習指導要領(平成29年告示)』 平成30年 東山書房
- ・文部科学省 『ICTを活用した指導方法（1人1台の情報端末・電子黒板・無線LAN等）』 平成26年
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/08/14/1408183_4.pdf
- ・奈須 正裕 『個別最適な学びの足場を組む。』 2022年 教育開発研究所
- ・奈須 正裕・伏木 久始編著 『「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して』 2023年 北大路書房
- ・宗實 直樹 『社会科「個別最適な学び」授業デザイン 理論編』 2023年 明治図書出版
- ・加固 希支男 『小学校算数 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実』 2023年 明治図書出版
- ・ネットワーク編集委員会編 『授業づくりネットワーク No.45（通巻353号）「個別最適な学びと協働的な学び」を考える』 2023年 学事出版